



芸南トピックス



▲上手にカットできました

東広島市立木谷小学校の3年生9人が12月19日の調理実習の時間に植え付けから収穫まで育てた特産ジャガイモを使ったカレー作りを行いました。
ジャガイモは9月6日に植え付け12月17日に収穫した「出島」を使い、JA女性部フレッシュミズ部会の部員3人が講師として参加しました。



▲最高に美味しいカレーの完成



育てたジャガイモで
“最高に美味しいカレー”を作ったよ



みつろうアロマクリーム作りと簡単セルフハンドケア講座
JAひろしま女性部芸南地区本部

JA女性部芸南地区本部は、12月21日に安芸津支店で「みつろうアロマクリーム作りとセルフハンドケア講座」を開き、部員や子ども、女性部活動に興味がある人総勢25人が参加しました。

みつろうは、講師坂本幸子さんの地元竹原市の「仁賀ハニー」を使い、講師が厳選したアロマオイル（精油）を使って、「みつろうアロマクリーム」をグループで作りました。参加者はアロマオイルの必要滴数を入れる係、記録する係、混ぜる係になり、協力して作りました。

「みつろうアロマクリーム」が出来上がったら、簡単なセルフハンドケアを習いました。手のひらや指のつぼなどの説明を受けながら、気持ちいい強さでもみほぐします。

沖野由香部長は、「女性はいつまでもきれいなことに興味がある。今後もしるいろいろな活動を行ない、仲間を増やしていきたい」と笑顔で話しました。



▲つやつやになりました



水稲 2月

先月に引き続き、土づくりをする時期となります

冬場の土づくりは稲の生育に大きく影響するので、有機物補給、土壌改良剤の施用を行ない耕起しておきましょう。

- ①有機物(10a当り)次のいずれかを1t施用しましょう。
 - ・牛ふん堆肥 ・豊穰2号
 - ・こだわり健肥
- ②土壌改良剤は水田の状態によって使い分けて施用しましょう。
 - ・病気が多い水田では茎葉を強化し、病害耐性を高める「ケイ酸」を、根腐れが多い水田では根の発根強化に有効とされる「鉄分」を考慮して施用してください。

資材の使用例(※10a当り施用量)
ケイカル 200kg (10袋)

(ケイ酸主成分。倒伏防止、いもち病・こま葉枯れ予防に)

ミネリッチ 100kg (5袋)

(ミネラルGのケイ酸・苦土を高めたもの。生育・耐病強化に)

ミネラルG 200kg (10袋)

(ケイ酸・鉄分・石灰・苦土・マンガンとバランス良い改良資材)

土壌園 60kg (3袋)

(高濃度でバランス良い改良資材。散布量を減らせる省力タイプ)

石灰窒素

20kg (1袋)

(年内に生ワラの上に散布。腐敗と微生物の増加を促進)

アグリ革命 2kg (1袋)

(酵素資材で、土壌環境に影響されることなく浮きワラ ガス沸ぎを減らさせる)

水稲 安浦店
TEL 0823-8412049
担当 桑原 伸明

野菜 2月

馬鈴しょの植え付けについて

種の植え付け時期と管理方法

植え付けは、2月上旬〜3月上旬までに行ないましょう。小さな芋はそのまま植え付ける事が可能ですが、大きな種芋は切断して植え付けます。ただ

し、ウイルス病の感染対策のために、切断する時は殺菌としてケミクロンG(10倍液)に包丁を漬けてから切断しましょう。

薬剤を使わない方法として、鍋などに熱湯を用意し、包丁を5秒程漬ける事で殺菌することも可能です。いずれも種芋を10ほど切断したら、再度包丁を殺菌して使用してください。(ウイルスに感染した芋を無殺菌の包丁で切断すると、種芋に次々と感染します。ご注意ください。)

アブラムシの予防対策

アドマイヤー1粒剤・10a当り4kgを植え付け時に条撒きします。

元肥(設計例)

一般ほ場① 馬鈴しょ有機特号を10a当り110kg施用

一般ほ場② 馬鈴化成888を10a当り130kg施用

馬鈴しょ有機特号を10a当り140kg施用

マルチ栽培ほ場

馬鈴しょ有機特号を10a当り140kg施用

※マルチで植え付けると、保温効果で生育が早まり、早ければ5月頃の早期出荷が可能です。通常の露地植えはマルチ栽培の収穫が終わった後、6月頃から収穫開始となるため、組み合わせて植え付けると収穫遅れがなくなり、安定した品質と作業の分散化が期待できます。以下、マルチの種類をご紹介します。

透明マルチ

地温上昇効果が期待できますが、光線が多く入る分、雑草が生えやすくなります。植え付けた後に除草剤のゴーサン乳剤(水100ℓ当り薬剤300mlを溶く)(使用時期は植え付け後、使用回数は1回)を散布してマルチをかけましょう。萌芽したら、ナイフなどで穴を空け、芽を外へ出します。

グリーンマルチ

透明マルチには劣りますが地温上昇効果があり、光線の透過量が少ないため、ある程度雑草を減らす効果があります。欠点として萌芽が外から見えにくく、穴が開けにくいといった点がありますが、マルチ内の雑草発生が少ないため、近年はこちらの使用者が増加しています。

タマネギの防除・追肥について

※近年、**べと病**により、多くの被害が発生しています。降雨が多く、10℃以上の多湿になると要注意です。なるべく早期から予防を行ないましょう。

※本年も温暖な日が多く、早期の防除をおすすめします。

防除例

べと病・灰色かび病

※発病前予防として

ダコニール1,000

1,000倍液(収穫7日前まで、使用回数6回以内)または

ジマンダイセン水和剤

500倍液(収穫3日前まで、使用回数5回以内)

※発病初期対策として

プロポーズ顆粒水和剤

1,000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）または

フォリオゴールド

1,000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

タマネギの追肥について

2月上旬・2回目として固形23号を1a当り4kg条間に施用しましょう。

3月上旬・3回目として同じく固形23号を1a当り4kg条間に施用しましょう。

肥料は必ず3月上旬までに終了してください。肥大が遅れ、貯蔵性が悪くなり腐敗の原因になります。

〈生産工程管理日誌は必ず提出しましょう！〉

生産工程管理日誌は次期の栽培計画に利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用は細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

野菜問 営農経済課

TEL 0846-45-3360

担当 久保勝義

果樹

3月

かんきつ

中晩柑類の貯蔵管理の徹底

外気温が高くなると、貯蔵果実の腐敗が増加します。

腐敗果の点検を行ない、朝の気温の低い時間帯に換気を行ないましょう。

温州ミカンのせん定

全体的に表年で着花量が多いことが予想されますので、先月に引き続き暖かい日を選んで、早めのせん定を行ないましょう。また樹をゆったりとつくり、防除や収穫作業のしやすい園地となるようにしましょう。密植園は縮伐や間伐を行ないましょう。

中晩柑のせん定

各品種とも結実性が良い反面、樹勢が低下しやすいものが多いので、大玉生産のためには無駄な花を咲かせないことが重要となります。せん定する際には、短く弱い芽がたくさん出ている枝（5cm程度の芽が3本以上）をその下まで切返します。また中段・下段の下垂枝の整理が必要となります。

ただし、不知火・はるみ等で極端に樹勢の落ちている樹（葉色が悪く、上部に強い枝が無く、葉の大きさがかなり小さくなっているもの）では、温度と湿気の高い5〜6月頃の夏芽の伸長が良いことを利用し、樹の先端部の摘蕾・早期摘果を行なうことで、芽の充実が図れ、樹勢回復・大玉生産に繋がります。

春肥の施用

肥料不足は収量の減少、隔年結果の増大、中晩柑類の小玉化の原因となります。春肥は、温州ミカンで2〜4袋・中晩柑類6袋が基準です。詳しくは、2025年かんきつ栽培管理指針を参照ください。

春マシンの散布

12〜1月にマシン油乳剤を散布してない園では、3月上中旬に、クミアイアタックオイル（97%）80倍液を散布しましょう。併せて、発芽促進のため尿素300倍を混用しましょう。

中晩柑類は、枝に付いたかいよう病斑をせん定時に徹底的に除去し、3月下旬にICボルドー66D 40倍液を散布しましょう。なお、アタックオイルとの散布間隔は14日以上必要なので注意してください。

高接ぎによる品種更新

接ぎ木は3月下旬から行なうことができます。穂木は3月中に準備しましょう。

びわ

春肥の施用

2月に施用が出来てない園では早急に実施しましょう。

10a当り

元気866・5袋・ブロウ・1袋

摘果

摘果は寒害被害の心配がなくなる3月上中旬以降から行ないます。1果房に残す果実数は1〜3個を目安に、果形が細長く果皮に張りがないも

のは寒害果の可能性が高いので優先的に摘果を行ないましょう。

いちじく

かん水

3月中下旬、地温が10℃近くになると根が活動し始めます。土壌が乾燥しているようであれば、温暖な日の午前中にかん水を行なうと芽揃いが良くなります。

敷きわら

4月中旬以降、5cm程度の厚さに敷きわらを敷きましょう。これにより土壌の乾燥防止（かん水の省力化）、根の生育促進及び保護、雨の跳ね上がり防止による病気の軽減、雑草の抑制につながります。

農薬使用の注意点

- ・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示版などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・作物の残留農薬が問題となつていますが、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。

果樹問 安芸津アグリセンター

TEL 0846-45-0488

担当 広果連駐在技術員 栗木 富生

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

あなたとわたしの
ふれあい市



JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



2月
柑橘の
おすすめ

みなさんこんにちは☆

立春も過ぎ、春が始まりましたが、まだまだ寒い日が続きますね♪
ふれあい市には色々な柑橘が揃っていますよ～。

せとか

柑橘の女王。
ジューシーで濃厚な
甘さが特徴。

はるか

後味さっぱりとした
爽やかな甘さが特徴。

しらめひ

果実上部のデコが特徴。
歯ごたえのある甘い果実。

はるみ

甘くてジューシー。
手で皮がむけ内袋ごと
食べられるのが特徴。

晩白柚

柑橘類の中で最大の大きさ。
糖度が高く酸味少なめ。

はっさく

ほのかな苦みと
独特な食感が特徴。
毎年根強い人気。

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い
合せください。

0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで

まだまだ品種がありますので、
ぜひ食べくらべてください♪

※写真はイメージです。